

令和6年度 滝川市立病院 経営強化プランの実施状況について

令和6年12月11日

滝川市立病院

1. 経営強化プラン策定の趣旨

公立病院の経営に関しては、これまでも、総務省のガイドラインに基づき経営計画を策定してきたが、今回、新たに総務省から「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（以下「公立病院経営強化ガイドライン」という。）が示され、持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院の経営強化に必要な取組を進めることが公立病院に求められた。

これを踏まえて、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、アフターコロナを見据えた経営改善への取組等を進め、引き続き、地域の中核医療機関として安定した医療を提供していくため、本プランを策定した。

＜経営計画等策定の経過＞

平成21年 3月滝川市立病院改革プラン	（平成21年度～平成25年度）
平成24年 3月滝川市立病院中期計画	（平成24年度～平成26年度）
平成27年 3月滝川市立病院中期計画	（平成27年度～平成29年度）
平成29年 3月滝川市立病院経営計画	（平成28年度～平成32年度）
令和 2年 3月滝川市立病院経営改善計画	（令和 2年度～令和 5年度）

2. 経営強化プランの内容

経営強化プランにおいては、総務省から発出された「公立病院経営強化ガイドライン」に沿って、下記の6つの視点について、本プランを策定した。

- ① 役割・機能の最適化と連携の強化
- ② 医師・看護師等の確保と働き方改革
- ③ 経営形態の見直し
- ④ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組
- ⑤ 施設・設備の最適化
- ⑥ 経営の効率化等

3. 経営強化プランの対象期間

本プランの対象期間は2023年度（令和5年度）から2027年度（令和9年度）までの5年間とする。なお、病院経営に影響を及ぼすような地域医療構想の変更、経営状況の変化、政策決定や診療報酬の改定、診療体制の変更等の外部環境・内部環境の変化が起きた際は必要に応じて、プランの内容や収支計画の見直しを行う。

4. 経営強化プランの点検・評価・公表等

本プランの着実な推進を図るため、毎年度、実施状況の点検及び評価を有識者や住民などにより構成する組織で実施し、前年度の実施状況や進捗状況を取りまとめた後、点検・評価を行い、その結果を公表する。

また、点検及び評価等の結果、本プランで掲げた経営指標に係る数値目標の達成が著しく困難であると認めるときは、本プラン全体を抜本的に見直し、改定を行うこともある。

本プランの実施状況及び評価結果は、当院ホームページに掲載するほか、当院事務課において閲覧に供する。

令和5年度決算及び令和6年度決算見込

令和6年12月11日

【収益的収支及び主要比率抜粋】 上段：滝川市立病院経営強化プランより
下段：決算値（令和6年度は決算見込）

（単位：千円）

上段：計画 下段：実績	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
病院事業収益		7,403,250	7,249,986
	8,215,621	6,962,947	6,232,618
医業収益		6,016,718	6,260,703
	5,753,634	5,570,829	5,196,802
入院収益		3,466,697	3,734,474
	3,304,002	3,217,707	2,973,026
外来収益		2,253,613	2,229,821
	2,153,224	2,014,487	1,885,141
他会計負担金		173,858	173,858
	160,425	206,355	206,355
その他医業収益		122,550	122,550
	135,983	132,280	132,280
医業外収益		1,386,532	989,283
	2,271,481	1,285,899	1,035,816
うち他会計負担金		670,802	815,083
	773,938	670,802	782,586
特別利益		0	0
	190,506	106,219	0
病院事業費用		7,109,884	7,350,301
	7,123,036	6,963,383	7,254,954
医業費用		6,833,569	7,080,038
	6,849,207	6,432,274	6,814,736
給与費		3,554,209	3,743,380
	3,723,683	3,502,399	3,759,275
材料費		1,522,636	1,586,072
	1,430,236	1,302,063	1,281,432
減価償却費		512,373	585,399
	514,504	504,202	585,399
その他医業費用		1,244,351	1,165,187
	1,180,784	1,123,610	1,188,630
医業外費用		276,315	270,263
	273,829	531,109	440,218
特別損失		0	0
	0	0	0
医業損益		-816,851	-819,335
	-1,095,573	-861,445	-1,691,934
経常損益		293,366	-100,315
	1,092,585	-436	-1,022,336
医業収支比率		88.0%	88.4%
	84.0%	86.6%	76.3%
経常収支比率		104.1%	98.6%
	112.9%	98.4%	85.6%
修正医業収支比率		85.7%	86.2%
	81.7%	83.4%	73.2%

※R5より会計方式を税抜方式に変更

※高等看護学院収支は含まない

令和5年度決算及び令和6年度決算見込

令和6年12月11日

【資本的収支】 上段：滝川市立病院経営強化プランより
下段：決算値（令和6年度は決算見込）

（単位：千円）

上段：計画 下段：実績	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
資本的収入		856,100	165,600
	286,317	719,050	305,320
企業債		810,200	120,000
	147,200	675,200	259,900
出資金		0	0
	0	0	0
貸付金収入		300	600
	1,525	4,735	300
補助金		0	0
	97,012	0	0
寄附金		12,000	12,000
	12,000	12,000	12,000
繰入金		33,600	33,000
	28,580	27,115	33,120
資本的支出		1,300,567	586,723
	710,874	1,091,708	772,489
建設改良費		810,251	120,000
	244,411	603,192	259,966
企業債償還金		456,716	433,723
	437,883	456,716	479,403
貸付金		33,600	33,000
	28,580	31,800	33,120
資産購入費		0	0
	0	0	0
差引不足額		-444,467	-421,123
	-424,557	-372,658	-467,149
補填財源		444,467	421,123
	424,557	372,658	467,149
不足額		0	0
	0	0	0

【現金の推移】

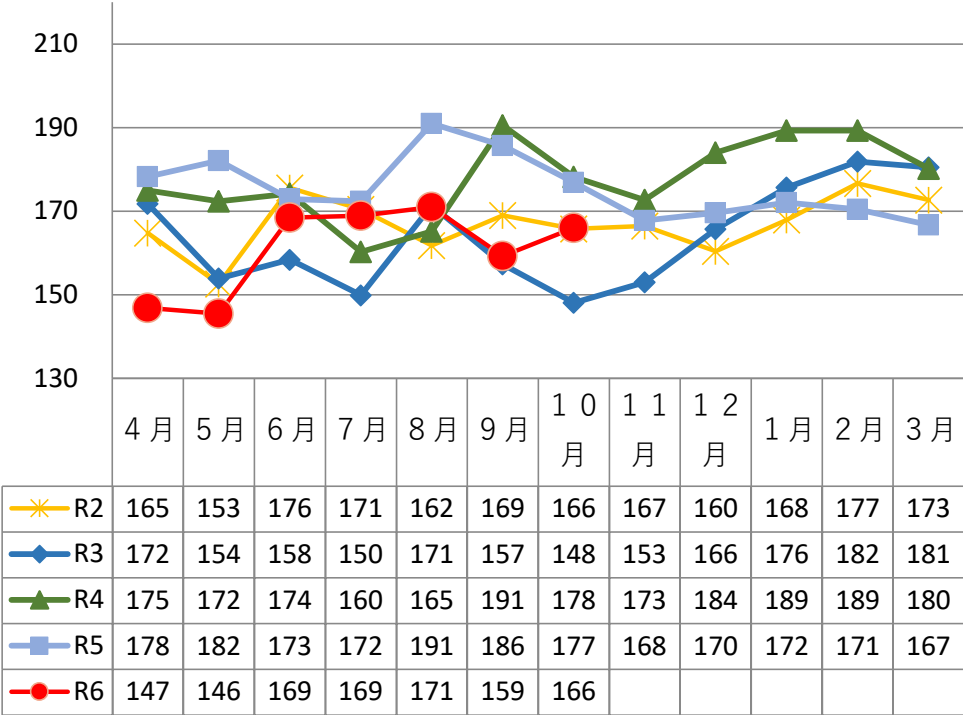
（単位：千円）

	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)
単年度現金収支	977,833	492	-949,216
年度末現金残高	178,813	893,491	-55,725
繰入金総額	942,377	916,272	988,941

※高等看護学院分除く

1. 患者数

入院 1 日平均患者数推移



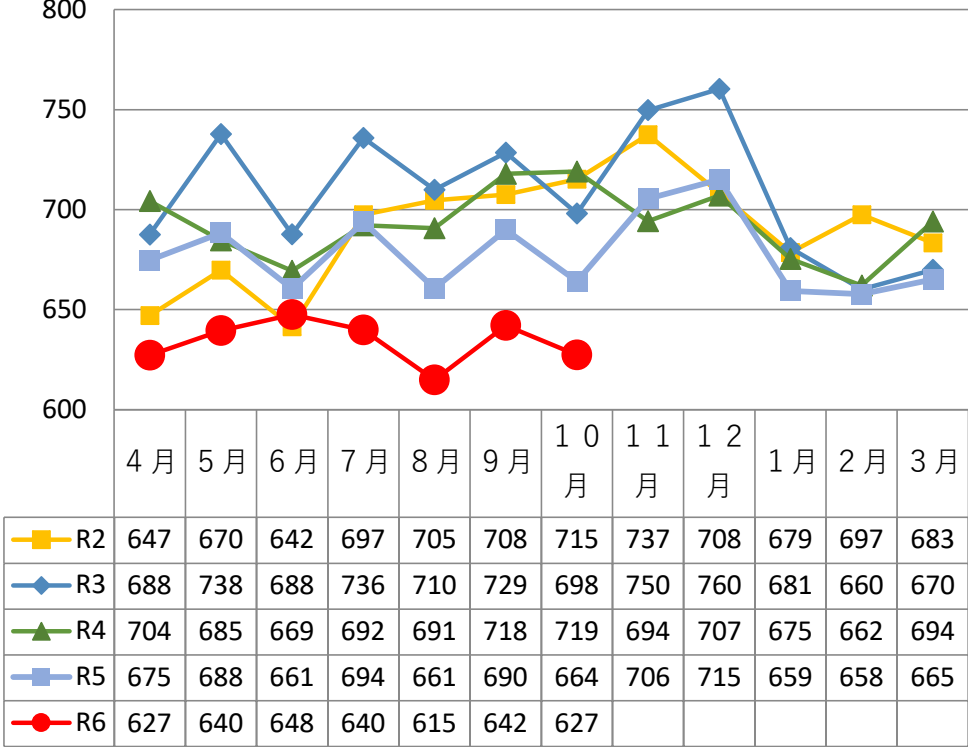
入院（4～10月）
1 日平均患者数

2年度	165.7人
3年度	158.6人
4年度	173.6人
5年度	179.9人
6年度	160.9人

1 日平均単価/ 1 人
(含自費分)

2年度	46,053.4円
3年度	50,297.8円
4年度	50,278.7円
5年度	49,578.2円
6年度	49,677.5円

外来 1 日平均患者数推移



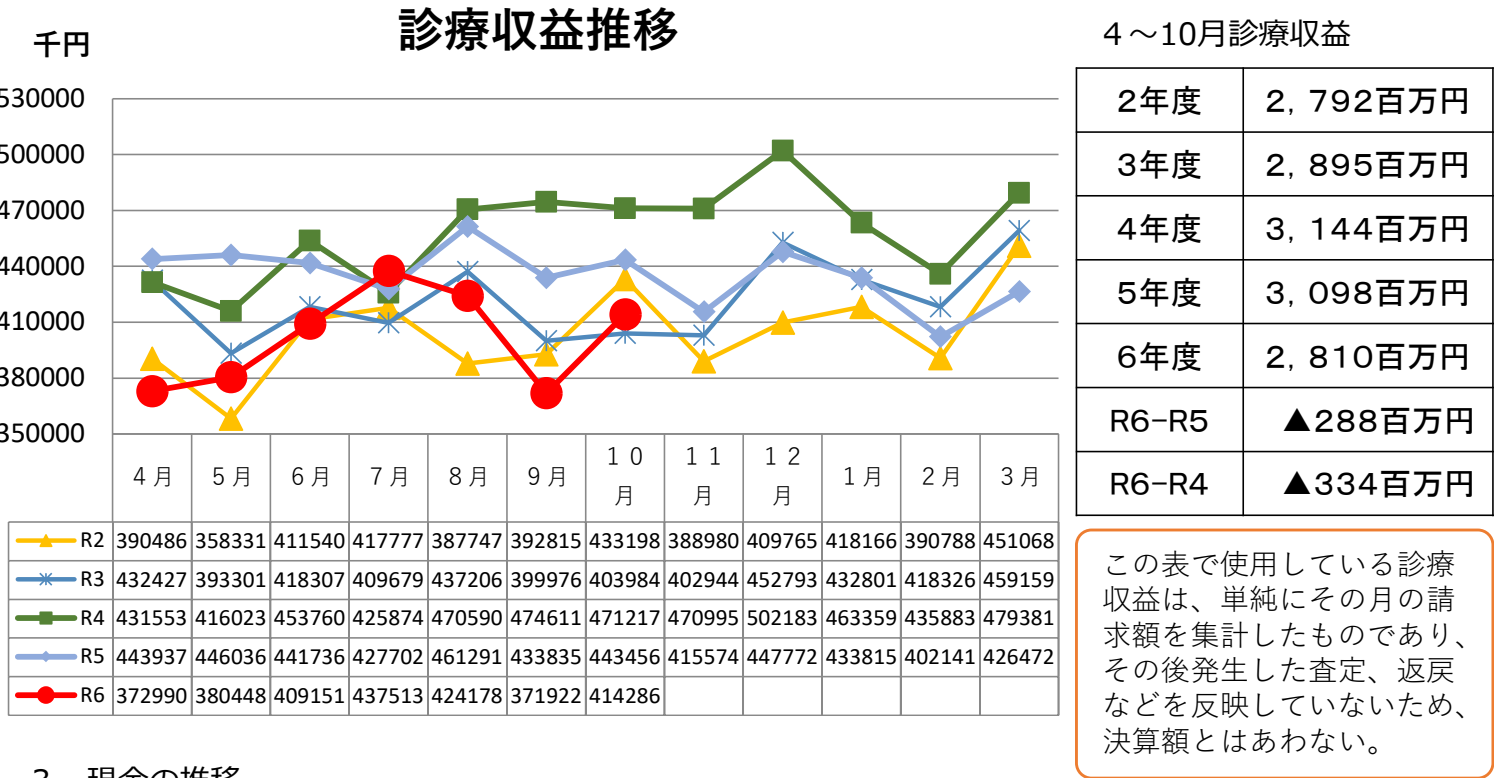
外来（4～10月）
1 日平均患者数

2年度	683.2人
3年度	711.2人
4年度	696.5人
5年度	675.5人
6年度	633.8人

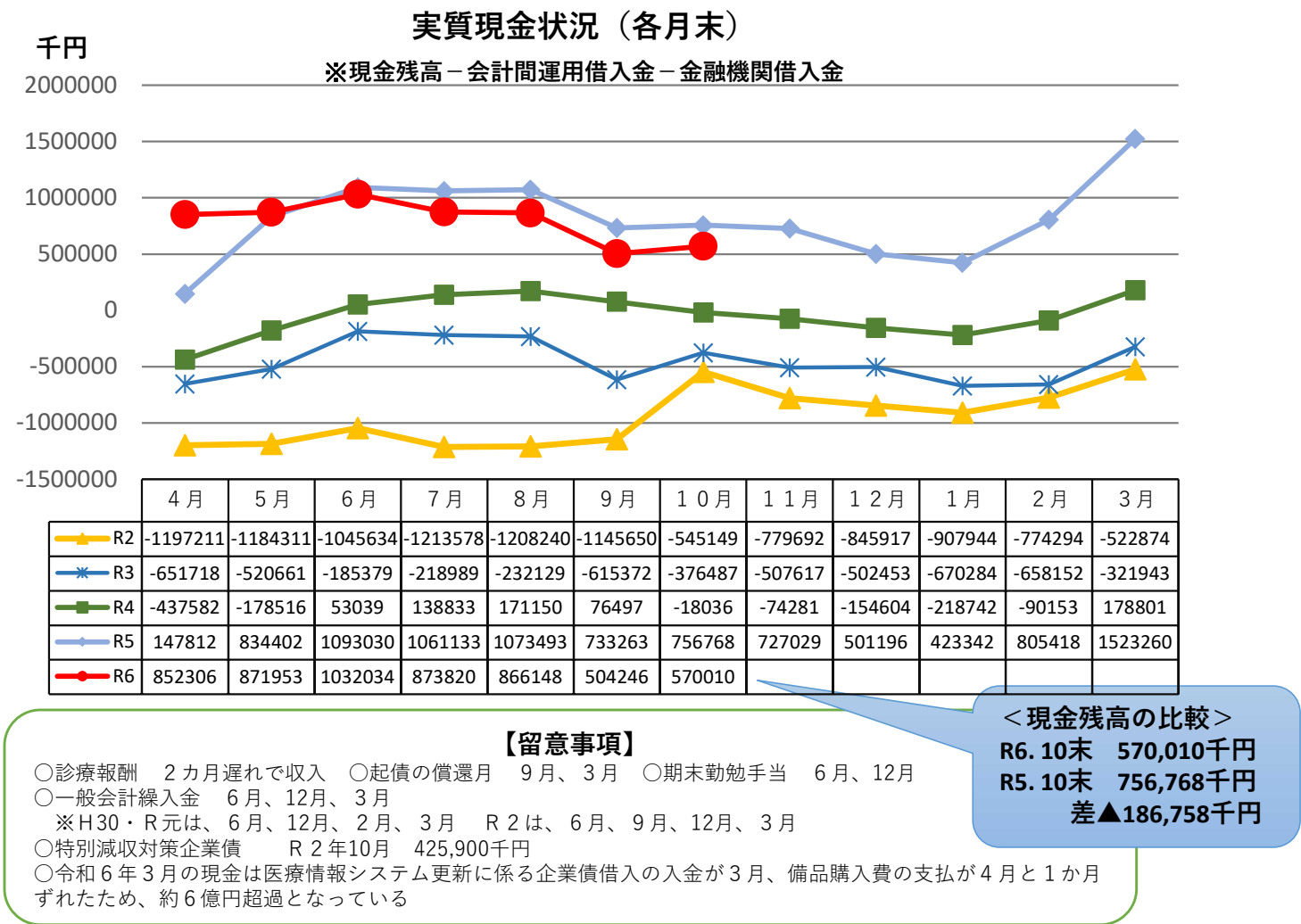
1 日平均単価/ 1 人
(含自費分)

2年度	11,781.0円
3年度	11,675.9円
4年度	12,809.6円
5年度	12,138.8円
6年度	11,887.1円

2. 診療収益（入院＋外来）



3. 現金の推移



今後の中期的な収支の見通しは非常に厳しく、このまま推移すると今年度末で現金が枯渇する可能性があります。

その主な原因は次のとおりです。

医業収益の急速な減少

単位：千円

	R 5 決算	R 6 決算見込	差引
入院	3,217,707	2,973,026	▲244,681
外来	2,014,487	1,885,141	▲129,346
合計	5,232,194	4,858,167	▲374,027

●一般病床に戻すも...入院患者は戻らず

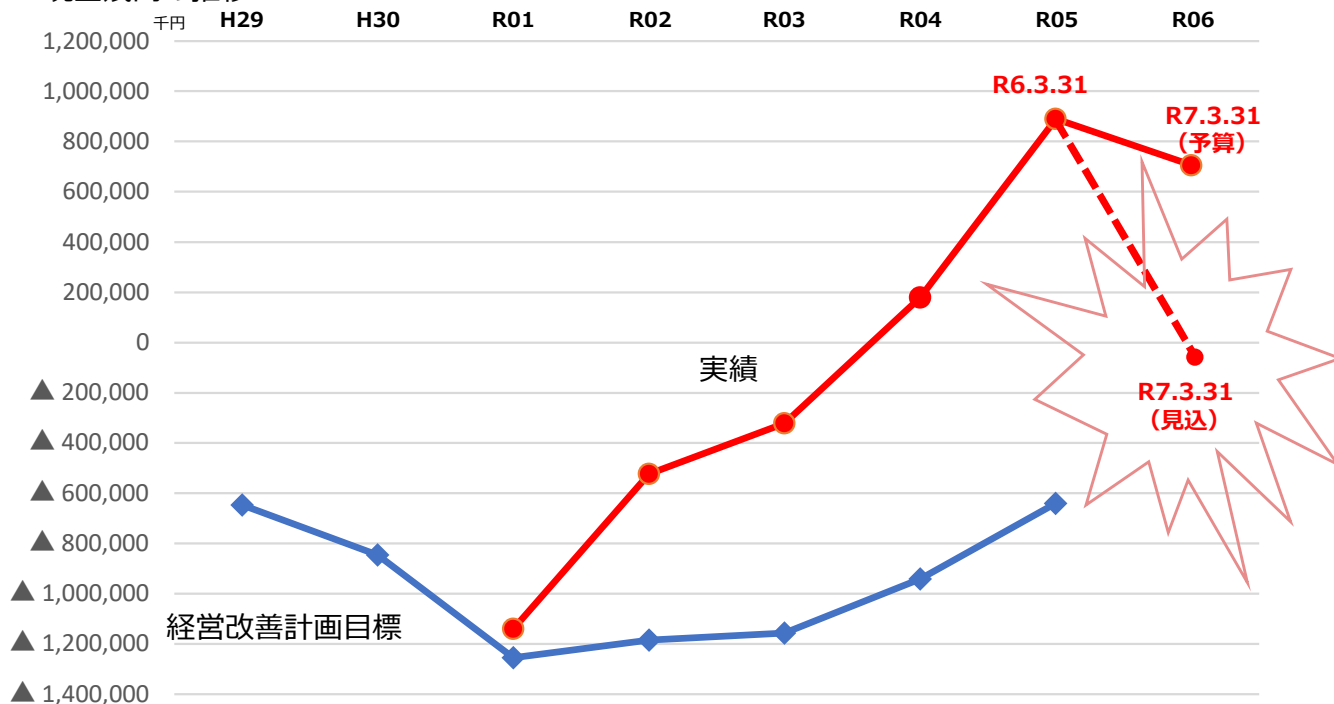
コロナへの財政支援打ち切り

- 病床確保料はR 5 年 9 月で実質終了、ゼロへ。
- 感染症に係る特別加算もほぼ終了、単価減少

医業費用の増加等

- 物価高騰による材料費などが値上がり中！
- 国主導の給料引上げに診療報酬が追いつかない！

現金残高の推移



病院財政指標で重要な「資金不足費率」

資金不足比率は令和元年度以降発生していませんでしたが、このまま推移すれば、資金不足比率が10%を超えた段階で、**企業債の借入（医療機器の購入など）が許可制**に、資金不足比率が20%に達すると、**経営健全化計画の策定が義務づけ**となります。

平成30年度と比較すると、1日入院患者数で28%、60人もの減少となっています。1日平均外来患者数も20.3%、160人以上減少しています。**収支を均衡させない限りは、病院経営は成り立ちません。**

病院としては医師の確保や増患対策など、診療報酬の減少に歯止めをかけるための取り組みに引き続き力を注ぎ、収支不足を補っていく所存です。

【プランの取組状況】

取組項目（目標）		R4（実績）	R5（実績）	R6（実績）（4～9月）
1. 収支計画達成に向けた指標とアクションプラン（経営強化プラン8.2）				
（目標1）収入確保に関する項目				
入院患者数（人）/日	R9年度 210人/日	177.5人/日	175.5人/日	160.0人/日
入院単価（円）	R9年度 49,506円	50,997.4円	50,082.6円	49,539.7円
病床稼働率（%）※休床数を除く	R9年度 77.8%	67.7%	65.9%	59.3%
外来患者数（人）/日	R9年度 719人	692.6人/日	677.7人/日	635.0人/日
外来単価（円）	R9年度 12,482円	12,793.4円	12,232.5円	12,006.4円
（目標2）費用削減に関する項目				
費用/医業収益				
職員給与比率（%）		64.7%	62.9%	
材料比率（%）		24.9%	23.4%	
うち薬剤比率（%）		8.6%	18.1%	
（目標3）経営の安定性につながる目標				
経常収支比率（%）	R9年度 101.0%	112.7%	98.5%	
修正医業収支比率（%）	R9年度 87.8%	81.7%	83.4%	
正職員数（人）	R9年度 363人	344人	351人	349人
うち医師数（初期研修医・会計年度除く）	R9年度 34人	34人	36人	30人
うち看護師数（看護部所属のみ）	R9年度 217人	203人	※実質34人 （産休・育休取得有） 207人	※一般内科△2、 循環器内科△1、外科△1 211人
（取組1）診療科ごとの入院患者数の目標設定とモニタリング				
合計	183.0人/日	177.5人/日	175.5人/日	160.0人/日
内科小計	75.0人/日	77.7人/日	80.8人/日	70.0人/日
一般内科	50.0人/日	47.7人/日	52.7人/日	44.6人/日
循環器内科	25.0人/日	30.0人/日	28.1人/日	25.4人/日
外科	13.0人/日	14.3人/日	13.1人/日	11.4人/日
整形外科	53.0人/日	50.3人/日	46.2人/日	44.8人/日
泌尿器科	10.0人/日	11.2人/日	9.9人/日	10.0人/日
眼科	1.5人/日	1.7人/日	1.7人/日	2.0人/日
耳鼻咽喉科	2.5人/日	1.1人/日	0.9人/日	1.7人/日
精神神経科	28.0人/日	21.0人/日	22.8人/日	20.0人/日
麻酔科	0.0人/日	0.2人/日	0.2人/日	0.1人/日

【プランの取組状況】

取組項目（目標）		R4（実績）	R5（実績）	R6（実績）（4～9月）
（取組2）各部門における行動計画の策定とモニタリング				
		・行動計画：4月策定、9月中間報告、3月最終報告 ・モニタリング：毎月実施	・行動計画：4月策定、9月中間報告、3月最終報告 ・モニタリング：毎月実施	・行動計画：4月策定、9月中間報告 ・モニタリング：毎月実施
（取組3）効率的なベッドコントロールの実施				
		医師が退院許可を行い、看護師が退院日の調整を行う。	医師が退院許可を行い、看護師が退院日の調整を行う。	医師が退院許可を行い、看護師が退院日の調整を行う。
（取組4）地域連携の強化（紹介患者の入院率向上）				
年間紹介件数（R2～4Av2,472件）	2,500件/年	2,515件/年	2,566件/年	1,332件/半年
紹介からの入院率（R2～4Av15.4%）	16%	14.4%	14.4%	13.2%
（取組5）救急受入の強化（救急患者の入院率向上）				
年間救急車搬送件数（R2～4Av1,320件）	1,400件/年	1,429件/年	1,466件/年	649件/半年
救急からの入院率（R2～4Av48.5%）	50%	47.2%	52.0%	53.2%
（取組6）積極的な医学管理・指導等の実施				
○施設基準ランクアップ、新規取得（実績：千円）		○施設基準ランクアップ、新規取得（実績） 12件 102,720千円	○施設基準ランクアップ、新規取得（実績） 4件 3,850千円	○施設基準ランクアップ、新規取得（実績） 8件 74,400千円
○落穂ひろい活動等（実績：千円） ・入院料加算 ・指導料等算定強化		○落穂ひろい活動等（実績） ・入院料加算 ・指導料等算定強化 39,946件 217,891千円	○落穂ひろい活動等（実績） ・入院料加算 ・指導料等算定強化 38,485件 192,210千円	○落穂ひろい活動等（実績） ・入院料加算 ・指導料等算定強化 20,112件 53,985千円
・検査勧奨		・検査勧奨 7,066件 20,244千円	・検査勧奨 6,452件 18,951千円	・検査勧奨 3,241件 9,333千円
・お手軽健診		・お手軽健診 633件 823千円	・お手軽健診 553件 719千円	・お手軽健診 484件 609千円
・DPCコーディング		・DPCコーディング 19,607千円	・DPCコーディング 28,447千円	・DPCコーディング 10,947千円
（取組7）費用削減				
		・ベンチマークの活用 ・診療材料の共同購入 ・電力の入札 など	・ベンチマークの活用 ・診療材料の共同購入 ・電力の入札 など	・ベンチマークの活用 ・診療材料の共同購入 ・電力の入札 など
（取組8）医師・看護師の採用活動				
		看護師4/1採用22名 中途採用3名 医師 独自採用には至らず	看護師4/1採用24名 （うち再雇用1名） 中途採用2名 医師 独自採用には至らず	看護師4/1採用23名 中途採用3名 医師 独自採用1名 （耳鼻咽喉科）

【プランの取組状況】

取組項目（目標）		R4（実績）	R5（実績）	R6（実績）（4～9月）
2. 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る目標				
急性期機能				
手術件数（R2～4Aⅴ1,570件）	1,500件/年	1,706件/年	1,629件/年	773件/半年
回復期機能				
地域包括ケア病棟稼働率	80%以上 (2022年度実績：79.5%)	79.5%	82.4%	64.6%
その他				
入退院支援加算1の算定件数	2,000件/年 (2022年度実績：1,494件)	1,494件/年	1,985件/年	1,116件/半年
介護連携等指導料の算定件数	80件/年 (2022年度実績：64件)	64件/年	103件/年	110件/半年